

一一一、知られざる文明の裏面——心の歪と天変地変

(ページ『自分の身の回りの知らない事』参照)

天変地変というものも、全て——今生存している人々、その前に生存してきた人々も含めた——人間の心の歪が造り出したものなんですね。

私達のこの地球にしても、他の天体にしても、土だとか岩だとか思っているけれど、自分の体に譬えてご覧なさい。この地球も十二指腸か何かの、ほんの先くらいのものかもしれない。悪い処があつたら、手術して切り取らなければならない。しかし、取ればそれだけ歪が出て来る。

人間というものは、今地球に住んでいる。そして、いろんな歪を造っている。公害一つにしてもそうですね。今もどんどんどん公害を出している訳ですね。

地球には重力というものと、これを取り巻いている空気というものがある。これによって、地球上のものがバラバラにならないように出来ている。——言われたら、「尤もだ、そんな事知っていますよ」と言うかもしれない。

しかし現実には、こういう事を考えた人が何人いるでしょう。

そしてこの上空の層が、この中(地球上)の全てのを押さえている訳です。この層の中からは、空気やその他のものは地球の外に出て行かないし、また外部からこちらに入つて来ないようになっている。

ですから、この地上で出した公害というものは、この上空の層の何処かに溜まる訳です。

そうすると、高橋先生の話の中にあるように、太陽は燦々と熱・光を——一秒間に二〇〇万トンの石炭を燃やした量と同じエネルギーを——私達のいる地球に与え続けている訳ですよ。誰も頼んでいる訳ではない。

しかし、この太陽が無かつたら、私達は一瞬たりとも、生活出来ないんですよ。ところが、今人間が出しているこのスモッグの為に、太陽の光が入らなくなってくる。今、段々そうなっていますね。

その昔、この地球には氷河期というものがあつた。これは火山の爆發によって、この層に灰が溜まり、太陽の熱・光が入らずに、氷河期になっていったんですね。

そして、そのチリが永い間に重力によって地上に吸収され、晴れ間が出て来た。

そして、太陽の光によって、植物・動物が住めるようになった。——これ一つ考えでも何か分かりますような気がしますね。

今、地上から出す公害・排気ガスがある。飛行機は上空を飛んでいて、何も出ないと思っているけど、とんでもないです。沢山のものが上空に溜まっているんですよ。このまま溜めていってご覧なさい、どうなりますか？ ——地下のマグマが上昇し始めますよ。炭酸ガスが多くなればなるほど、そうなる。

また、私達の身体で言うと、肝臓がありますね。私は医者じゃありませんからよく分かりませんが、肝臓の中に網目フィルターみたいなものがありますね。体内に入った食べ物やいろんな物がどんどんこのフィルターを通って濾過していく訳ですね。この濾過した物がここに溜まってしまいます。

私達の肉体というものは、ちゃんとした食べ物を食べないと、このフィルターが塞がっていく訳です。塞がった状態が、肝硬変ですね。終わり……。

地球と人間の身体はあまり変わらないですね。地球にも、実はそういう場所がある

んですよ。しかし今、その許容量よりも、人間が出す公害の方が多いです。

また他にも、私達の五官（眼・耳・鼻・舌・身）では捉えることが出来ない公害も沢山あるんですね。みんな知らないだけですよ。

そうすると、私達の生活というのは、「文明だ文明だ」、「便利だ便利だ」とやっていったら大変な事になってしまう。

一九八〇年五月